

伊賀市の決算状況を報告します

平成26年度の決算状況を報告します

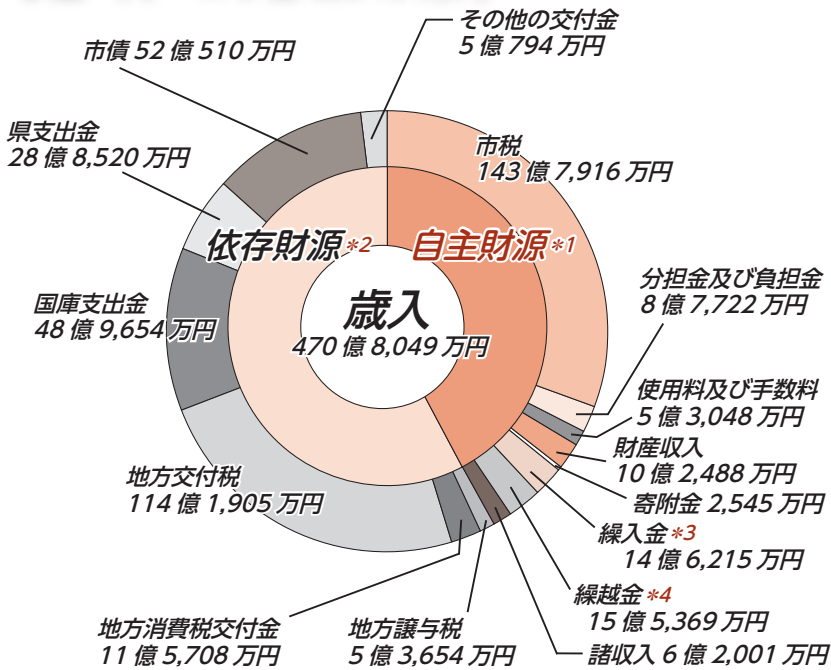
平成26年度の決算状況

9月に行われた第4回伊賀市議会（定例会）で、平成26年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。
 ※表示単位未満を四捨五入していますので、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。

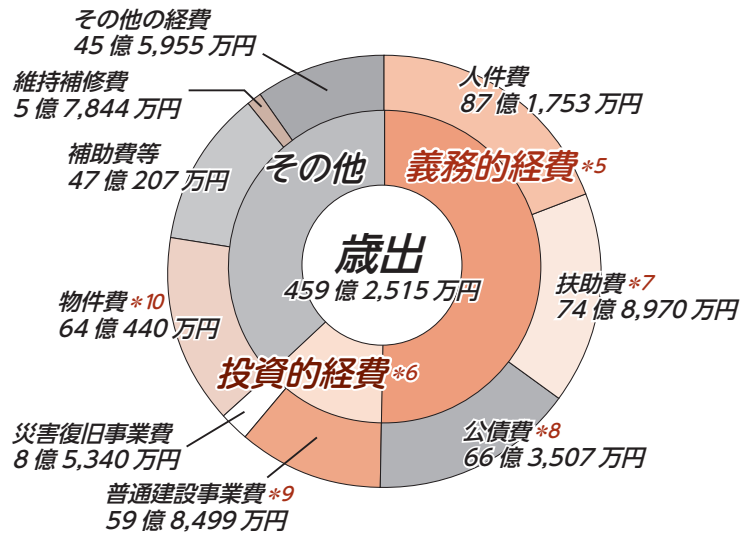


■ 一般会計の決算状況

◆歳入 470億8,049万円

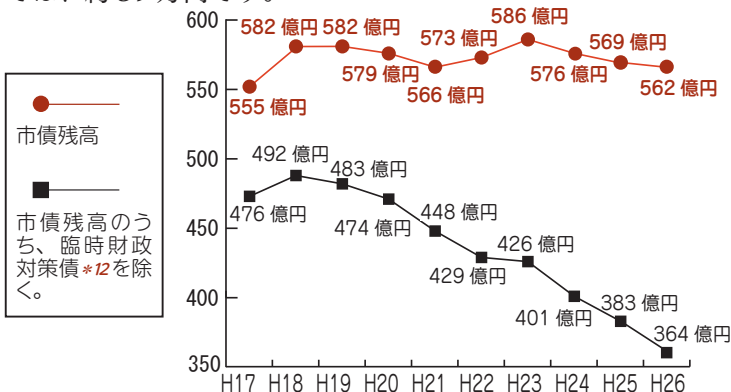


◆歳出 (性質別) 459億2,515万円



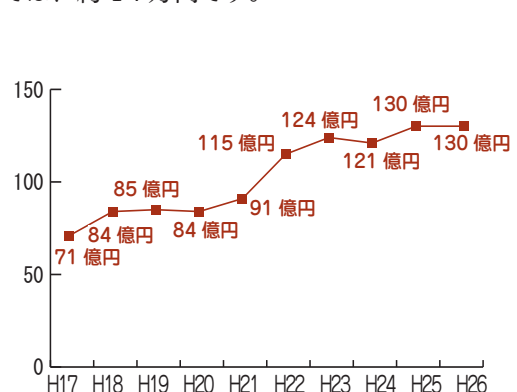
◆市債残高 562億円

市債^{*11}は、いわゆる市の借金です。市民一人あたりでは、約59万円です。



◆基金残高 130億円

基金は簡単にいうと市の貯金です。市民一人あたりでは、約14万円です。



主な事業



農林業費 (3.7%) 16億7,897万円

- 経営体育成支援事業 1億6,005万円
- 中山間地域等直接支払交付金事業 1億590万円
- 農業共済事務管理経費 1億157万円

消防費 (4.1%) 19億196万円

- 庁舎整備事業 2億1,043万円
- 消防施設整備事業 2億196万円
- 消防団本部管理経費 1億5,513万円



土木費 (7.0%) 32億3,613万円

- 社会資本整備総合交付金事業 5億2,056万円
- 都市公園整備事業 3億6,612万円
- 道路維持経費 2億1,238万円

教育費 (8.4%) 38億7,346万円

- 小学校建設事業 9億3,739万円
- 学校管理経費 (小学校費) 3億3,004万円
- 学校管理経費 (中学校費) 2億2,127万円

災害復旧費 (1.9%) 8億5,340万円

- 農林施設災害復旧事業 6億595万円
- 公共土木施設災害復旧事業 2億3,537万円
- その他公共・公用施設災害復旧事業 1,208万円

商工費 (1.1%) 5億1,173万円

- 企業立地促進経費 1億8,628万円
- 観光振興経費 1億3,264万円
- 商工業振興経費 4,761万円

議会費 (0.7%) 3億1,564万円

労働費 (0.2%) 1億463万円

- 雇用、勤労者対策事業 5,719万円
- 緊急雇用創出事業 3,119万円
- シルバー人材センター運営等経費 1,100万円

民生費 (30.2%) 138億6,696万円

- 障害者自立支援給付事業 15億7,678万円
- 介護保険事業 14億5,146万円
- 児童手当扶助費 14億4,027万円

(目的別)
歳出
459億2,515万円

公債費 (14.5%) 66億3,507万円

衛生費 (10.9%) 50億398万円

- ごみ燃料化及び施設維持管理経費 10億1,043万円
- ごみ収集経費 3億8,465万円
- し尿処理及び施設維持管理経費 3億2,350万円

総務費 (17.3%) 79億4,322万円

- 普通財産管理及び取得事業 15億621万円
- 文化施設維持管理経費 2億8,832万円
- 地区市民センター等維持管理経費 2億6,967万円

財政のことは

- *1 **自主財源**：地方公共団体が自主的に収入できる財源
- *2 **依存財源**：国や県からの交付金など
- *3 **繰入金 (⇔繰出金)**：一般会計と特別会計、特別会計同士など一方の会計の収支不足を補てんするために他方の会計から充当されるお金
- *4 **繰越金**：決算の結果、前年から繰り越しとなったお金
- *5 **義務的経費**：人件費・扶助費・公債費など、支出が法令で義務付けられている経費
- *6 **投資的経費**：道路・公園・学校・公営住宅の建設などの社会資本の整備に必要な経費
- *7 **扶助費**：児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などに対して、市が行う支援に要する経費
- *8 **公債費**：市債の元金と利子の返済金

- *9 **普通建設事業費**：道路、施設などを作ったり、施設を増築したりする経費
- *10 **物件費**：人件費・扶助費・補助費・普通建設事業費などを除く経費の総称
- *11 **市債**：主に道路や建設事業などのための借金。これは、公共施設は現在の市民だけでなく、将来にわたり多くの世代で利用するものなので、一度に税金でまかなうよりも、市債を借りて長期に渡り返済することで、世代間の公平性を図ろうという考えに基づいています。
- *12 **臨時財政対策債**：地方交付税の交付原資の不足に伴い、地方交付税に代わる地方一般財源として発行可能となった特例的な地方債

◆市有財産の状況

土地・建物	区分		土地	建物	主な施設
	行政財産	公用財産	84,937㎡	27,931㎡	庁舎・消防施設など
		公共用財産	3,685,926㎡	473,171㎡	学校・図書館・公営住宅・公園など
	普通財産		2,873,049㎡	33,463㎡	上記以外（山林など）
合計		6,643,912㎡	534,565㎡		

■特別会計の決算状況

市には、国民健康保険事業など9つの特別会計と2つの財産区特別会計があります。特別会計全体の基金残高は約38億円で3億円の増、市債残高は177億円で4億円の減です。



会計名	収入額	支出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	111億1,853万円	107億7,272万円	3億4,581万円	12億1,710万円	1,321万円
住宅新築資金等貸付	2,938万円	1億3,071万円	▲1億133万円	11万円	5,654万円
駐車場事業	3,651万円	3,641万円	10万円	—	—
介護保険事業	100億5,834万円	98億3,613万円	2億2,221万円	5,787万円	—
農業集落排水事業	17億8,100万円	17億3,108万円	4,992万円	11億467万円	106億9,049万円
公共下水道事業	8億6,280万円	8億1,921万円	4,359万円	10億3,338万円	67億8,241万円
浄化槽事業	2,366万円	2,248万円	118万円	4,641万円	1億995万円
サービスエリア	1,358万円	1,308万円	50万円	4,229万円	—
後期高齢者医療	10億5,377万円	10億3,127万円	2,250万円	—	—
島ヶ原財産区	2,879万円	2,735万円	144万円	1億8,396万円	—
大山田財産区	1,368万円	1,207万円	161万円	6,525万円	—
合計	250億2,004万円	244億3,251万円	5億8,753万円	37億5,104万円	176億5,260万円

■財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

平成20年に施行された法律によって、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

伊賀市の今年度の数値は、昨年度の数値よりも改善しており、すべての指標においても早期健全化基準・財政再生基準を下回りましたが、県内の市の中では下のほうになっています。

	実質赤字比率*1	連結実質赤字比率*2	実質公債費比率*3	将来負担比率*4	資金不足比率*5
伊賀市 (昨年度数値)	—	—	13.7 (14.2)	104.2 (105.3)	—
早期健全化基準	11.87	16.87	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

※実質赤字額・連結実質赤字額がないため、また資金不足比率は算定されないため、「—」と表記しています。

※速報値

*1 実質赤字比率：普通会計（行政サービスを行う一般会計など）の歳出に対する歳入の不足額（赤字額）が標準財政規模*6に占める割合

*2 連結実質赤字比率：すべての会計の赤字額と黒字額を合わせて計算した赤字額が標準財政規模に占める割合

*3 実質公債費比率：標準財政規模に占める公債費（借

金返済額）の割合の3カ年平均値

*4 将来負担比率：将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

*5 資金不足比率：公営企業ごとの営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合

*6 標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

水道事業

■事業概要

平成26年度の主な事業は、平成25年度に引き続いて伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、新規給水エリアの拡大を図るための事業として佐那具町や上神戸、配水管更新事業として上野丸之内、下川原・北山地内などの工事に取り組んだほか、柘植町地内の水源地配電盤、取水ポンプ更新工事、大沢配水池配水管減圧弁等設置工事などを実施し、施設機器の更新を図り、安定して水道用水を供給できるようにしました。

■経営状況

平成26年度末における給水人口は94,443人で、前年度に比べ764人減少し、給水戸数は38,960戸で、前年度に比べ201戸増加しています。年間総配水量は14,059,256㎡で、その内有収水量（水道料金徴収の対象となった水量）は11,514,591㎡で、前年度に比べ218,475㎡減少していますが、有収率（供給した配水量に対する有収水量の割合）は81.9%で、前年度に比べ1.3ポイント上昇しています。

経営面では、事業収益が32億7,699万円、事業費用は30億1,983万円で、収益的収支2億5,716万円の純利益となり、地方公営企業会計制度の見直しによるその他未処分利益剰余金変動額19億3,664万円と合わせ、21億9,380万円を当年度未処分利益剰余金としています。

今後もより一層の経営努力を行い、併せて安心安全で良質な水道用水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

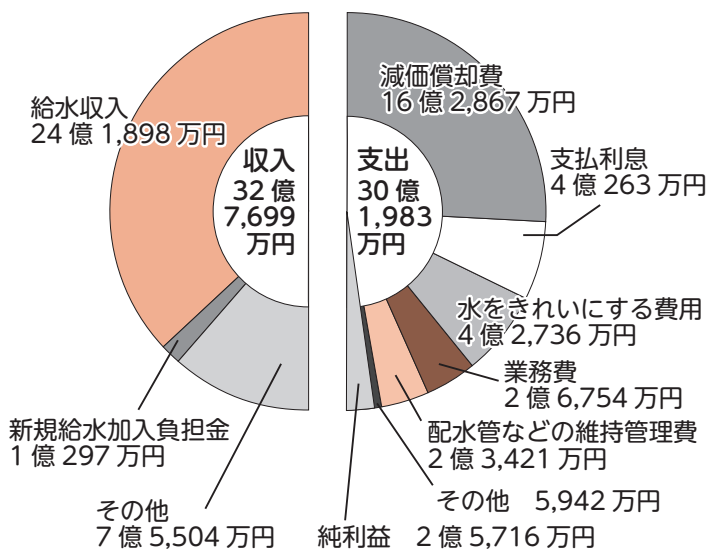


◀小田水源地

■平成26年度末の給水状況

現在給水戸数（戸）	38,960
現在給水人口（人）	94,443
配水能力（㎡/日）	52,489
年間総配水量 A（㎡）	14,059,256
1日最大配水量（㎡）	43,194
1日平均配水量（㎡）	38,519
1人1日平均配水量（ℓ）	408
有収水量 B（㎡）	11,514,591
1人1日平均有収水量（ℓ）	334
有収率 B / A（%）	81.90

■平成26年度の収入と支出（税抜き）



※各項目の内訳には課税されないものも含まれます。

■市債残高

173億9,130万円



■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む）

		予算額	決算額	繰越額	差引	
収益的収支	事業収益	34億4,284万円	34億6,834万円	—	増減額	2,550万円
	事業費用	32億1,798万円	31億7,761万円	—	不用額	4,037万円
資本的収支	収入	8億845万円	8億4,005万円	—	増減額	3,160万円
	支出	22億4,303万円	21億5,102万円	3,000万円	不用額	6,201万円

【問い合わせ】 水道総務課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

病院事業

■事業概要

市民病院は三重県西部の基幹病院として、全人的医療^{*1}を提供し広く市民に信頼される病院であることを基本理念とし、その役割を担ってきましたが、全国的な医師不足が続くなか大変厳しい経営状況が続いています。こうした状況のもと、経営改善計画を策定し、地域の中核病院としての使命達成と住民の健康保持を図るため、職員が一丸となって改革に取り組んでいます。

平成26年度は、平成25年度からの継続事業でヘリポートの設置や自家発電設備工事、災害時の医療に必要な資器材の購入など、災害拠点病院施設整備に努めました。また、本館5階病棟を地域集学治療センターとして運営するための大規模改修工事を実施したほか、医療機器では上部消化管汎用ビデオスコープや電動ベッドなどを購入し充実に努めました。

■各科利用状況（単位：人）

区分	外来		入院	
	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
内科	16,654	723	11,655	1,225
循環器科	4,477	261	3,113	1,068
小児科	514	484	0	0
外科	10,653	▲1,069	11,053	▲3,194
整形外科	8,999	▲2,324	7,465	▲876
脳神経外科	411	24	0	0
もの忘れ外来	331	▲34	0	0
神経内科	788	▲551	0	0
婦人科	2,819	340	0	0
眼	726	37	0	0
耳鼻咽喉科	878	▲256	0	0
皮膚科	984	20	0	0
泌尿器科	2,922	▲300	1,096	550
放射線科	2,108	▲2	0	0
救急科	2,270	2,270	34	34
合計	55,534	▲377	34,416	▲1,193
上野総合市民病院				
健診センター				
一般健診	4,215	▲286	—	—
人間ドック（一泊）	23	▲11	—	—
人間ドック（日帰り）	1,111	▲8	—	—
PET-CT健診	120	▲6	—	—
PET-CT保険適用	207	56	—	—
合計	5,676	▲255	—	—

■経営状況

病院の利用状況は、外来患者数が延べ55,534人（1日平均228人^{*2}）、入院患者数は延べ34,416人（1日平均94人）となりました。

決算の状況は、事業収益39億9,750万円、事業費用41億3,726万円で1億3,976万円の純損失が生じ、平成25年度までの未処理欠損金（累積赤字）33億1,027万円を合わせた額から地方公営企業会計制度の改正により、その他未処分利益剰余金変動額を差し引き、当年度未処理欠損金が7億7,756万円となりました。

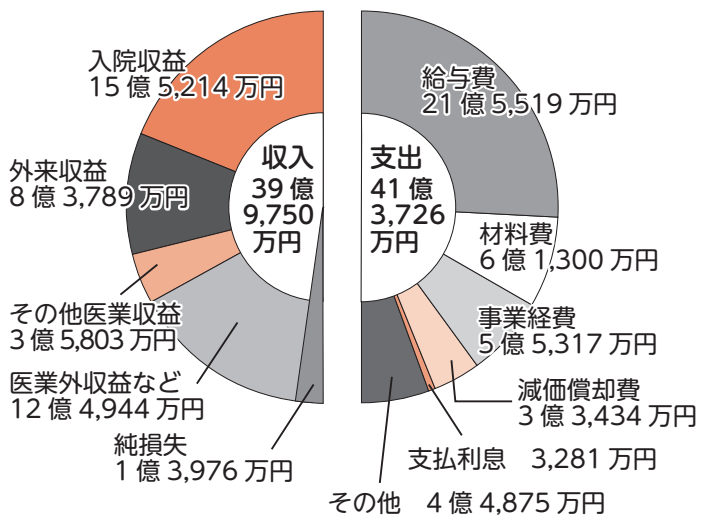
今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たせるように努力していきます。



^{*1} 病気の治療だけでなく、心理面などを幅広く考慮して、一人ひとりに合った医療を行うこと。

^{*2} 外来患者1日平均人数は、外来患者数を年間通常診療日数の244日で割っています。

■平成26年度の収入と支出（税抜き）



※各項目の内訳には課税されないものも含まれます。

■市債残高 17億4,128万円

■病院事業の決算（消費税・地方消費税を含む）

		予算額	決算額	繰越額	差引	
収益的収支	事業収益	41億8,480万円	40億1,348万円	—	増減額	▲1億7,132万円
	事業費用	41億7,719万円	41億5,038万円	—	不用額	2,681万円
資本的収支	収入	3億4,528万円	3億3,293万円	—	増減額	▲1,235万円
	支出	4億5,466万円	4億5,155万円	—	不用額	311万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院経営企画課 ☎24-1111 FAX24-1565

■一般会計の執行状況



【歳入】

区分	予算現額	収入済額	収入率
市税	140億5,606万円	83億6,268万円	59.5%
地方譲与税	5億2,707万円	1億6,366万円	31.1%
地方消費税 交付金	16億7,625万円	10億7,197万円	64.0%
地方交付税	109億1,070万円	73億1,817万円	67.1%
分担金及び 負担金	6億7,944万円	2億5,904万円	38.1%
使用料及び 手数料	9億5,998万円	2億8,141万円	29.3%
国庫支出金	51億2,564万円	20億2,625万円	39.5%
県支出金	30億538万円	5億2,123万円	17.3%
財産収入	9,539万円	3,658万円	38.3%
寄附金	1,080万円	1億2,070万円	1117.6%
繰入金	5億5,609万円	0円	0.0%
繰越金	11億5,534万円	11億5,534万円	100.0%
諸収入	5億6,631万円	1億6,092万円	28.4%
市債	59億7,020万円	0円	0.0%
その他の 交付金	5億3,189万円	1億9,400万円	36.5%
合計	458億2,654万円	216億7,195万円	47.3%

【歳出】

区分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	3億2,637万円	1億6,373万円	50.2%
総務費	62億8,670万円	19億3,991万円	30.9%
民生費	145億7,222万円	48億8,717万円	33.5%
衛生費	45億5,311万円	14億3,786万円	31.6%
労働費	1億784万円	7,908万円	73.3%
農林業費	21億8,373万円	7億7,449万円	35.5%
商工費	6億3,809万円	4億2,950万円	67.3%
土木費	33億8,949万円	10億5,161万円	31.0%
消防費	30億4,011万円	12億5,166万円	41.2%
教育費	36億5,440万円	13億701万円	35.8%
災害 復旧費	5億2,695万円	1億7,573万円	33.3%
公債費	65億1,753万円	32億4,499万円	49.8%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	458億2,654万円	167億4,274万円	36.5%

■特別会計の執行状況



会計名		予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	112億4,549万円	46億3,990万円	41.3%	50億2,508万円	44.7%
	住宅新築資金等貸付	1億2,223万円	1,906万円	15.6%	1億1,222万円	91.8%
	駐車場事業	3,709万円	1,797万円	48.4%	817万円	22.0%
	介護保険事業	99億372万円	43億1,579万円	43.6%	41億696万円	41.5%
	農業集落排水事業	13億4,470万円	4億4,968万円	33.4%	4億1,451万円	30.8%
	公共下水道事業	9億7,113万円	4億671万円	41.9%	3億3,335万円	34.3%
	浄化槽事業	2,353万円	1,128万円	47.9%	699万円	29.7%
	サービスエリア	1,337万円	628万円	47.0%	339万円	25.4%
	後期高齢者医療	10億7,028万円	3億4,157万円	31.9%	3億9,747万円	37.1%
	財産区	島ヶ原財産区	2,808万円	212万円	7.5%	393万円
大山田財産区		1,778万円	1,399万円	78.7%	36万円	2.0%
合計		247億7,740万円	102億2,435万円	41.3%	104億1,243万円	42.0%

伊賀市の予算執行状況を 報告します

－平成27年度上半期の財政状況－

市の財政状況を皆さんに知っていただくため、予算に対する歳入・歳出の執行状況などを報告します。平成27年度上半期（4～9月）の予算執行状況（9月30日現在）について、お知らせします。

※表示単位未満を四捨五入していますので、予算書の金額（千円単位）と一致していない場合があります。

■市税の状況(滞納繰越分を含む)



区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	57億7,641万円	29億130万円	50.2%
固定資産税	72億7,630万円	48億8,044万円	67.1%
軽自動車税	2億5,342万円	2億5,134万円	99.2%
市たばこ税	6億8,477万円	2億9,774万円	43.5%
鉱産税	5万円	2万円	40.0%
都市計画税	7万円	1万円	14.3%
入湯税	6,504万円	3,183万円	48.9%
合計	140億5,606万円	83億6,268万円	59.5%

■市債・企業債残高



会計名	現在高
一般会計	533億円
特別会計	173億円
企業会計	184億円
合計	890億円

■一時借入金はありません。



【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694